

平成23年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜  
学力検査の結果

平成23年3月

神奈川県教育委員会教育局  
教育指導部高校教育指導課

## 1 全県共通問題の出題のねらい

国語	<p>中学校までに学習する国語の内容について、文学的な文章、論理的な文章、古文などを素材として、基本的な国語の力を中心にみることを主なねらいとした。</p> <p>具体的には、文章全体の流れを理解しながら、登場人物の置かれた状況や心情を読み取る力、文の内容について考える力、主題や要旨を的確につかむ力、論点を明確にして文をまとめる力について、また、漢字を読む力と漢字の楷書を字形に配慮して書く力、語の照応に注意しながら文の組み立てを考える力や文章やグラフから読み取った内容について思考する力などについて、基本から応用の段階に至るまでの国語の力を総合的にみることができるように出題した。</p>
社会	<p>中学校までに学習する社会の内容について、基本的な力を幅広くみることを主なねらいとし、地理的分野、歴史的分野、公民的分野のどの分野にも偏らないように出題した。</p> <p>具体的には、地理的分野では、世界や日本の地域構成等についての基本的な知識と、地形図や統計等の諸資料を読み取る力や文章、地図などにより表現する力を、歴史的分野では、日本列島において人々の生活が始まってから近現代までの日本の歴史の大きな流れと各時代の特色に関する基本的な知識と、様々な資料を活用する力を、また公民的分野では、日本の政治・経済や現代社会、国際社会についての基本的な知識と、日常の社会生活等と関連付けながら思考する力をみることができるように出題した。</p>
数学	<p>中学校までに学習する数学の内容について、基本的な数学の力を中心に計算の技能、事象を数理的に考察する力、数学的な見方や考え方など、総合的な力をみることが主なねらいとした。</p> <p>具体的には、数と式の計算技能、関数とそのグラフについての基本的な概念の理解、問題を正しく把握し確率の考え方を活用する力、規則性を見だし方程式を活用する力、図形の計量についての力、図形についての基本的な知識を活用する力及び論理的に表現する力をみることができるように出題した。</p>
理科	<p>中学校までに学習する理科の内容について、自然科学の基本的な知識と概念についての理解力を幅広くみることを主なねらいとし、第1分野、第2分野のどちらの分野にも偏らないように出題した。</p> <p>具体的には、観察や実験に関しては、観察・実験の手順及び得られた結果を多面的、総合的に考える力を、自然の事物・現象に関しては、基本的な知識を活用する力及び科学的な見方や考え方をみることができるように出題した。</p>
外国語 (英語)	<p>中学校で学習する英語の内容について、基本的な英語力と英語のコミュニケーション能力をみることを主なねらいとした。</p> <p>具体的には、音声による英語を理解する力、単語のつづり字や語法の理解度、日常生活の様々な場面で用いられる表現を理解する力、英文から情報を正確に読み取る力、英文を論理的に構成する力、まとまりのある文章の概要や要点を把握し、内容を理解する力について、基本的な力と応用的な力を総合的にみることができるように出題した。</p>

2 全県共通問題の合格者の教科別平均点（満点は50点）

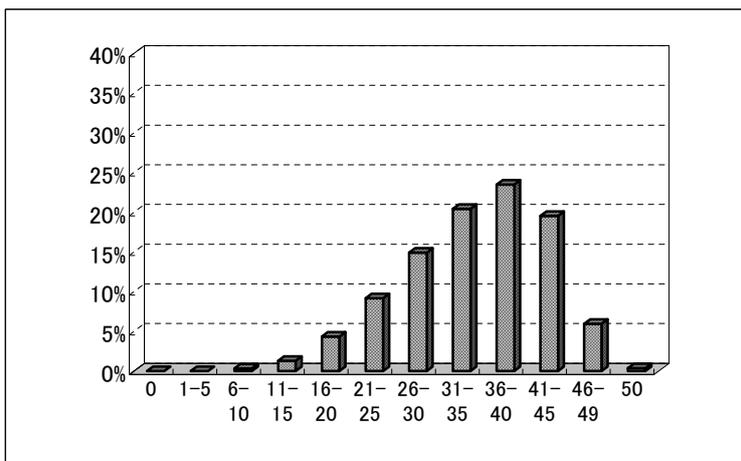
国語	社会	数学	理科	外国語 (英語)
34.5	32.7	32.7	35.8	38.3

3 独自問題実施校(県立高校)別の合格者の教科別平均点（満点は50点）

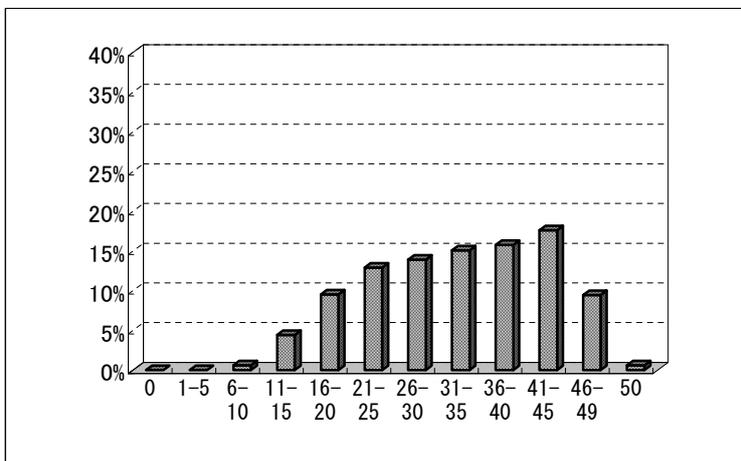
	国語	数学	外国語 (英語)
① 県立横浜翠嵐高等学校	39.9	28.7	35.4
② 県立光陵高等学校	39.8	23.0	38.8
③ 県立柏陽高等学校	36.7	30.9	41.3
④ 県立多摩高等学校	37.3	27.1	37.0
⑤ 県立横須賀高等学校	37.1	29.0	43.2
⑥ 県立湘南高等学校	38.6	35.1	36.3
⑦ 県立平塚江南高等学校	42.9	33.3	38.4
⑧ 県立小田原高等学校	34.7	28.7	31.3
⑨ 県立鎌倉高等学校		35.3	36.3
⑩ 県立横浜国際高等学校			41.8

4 全県共通問題の合格者の教科別得点分布

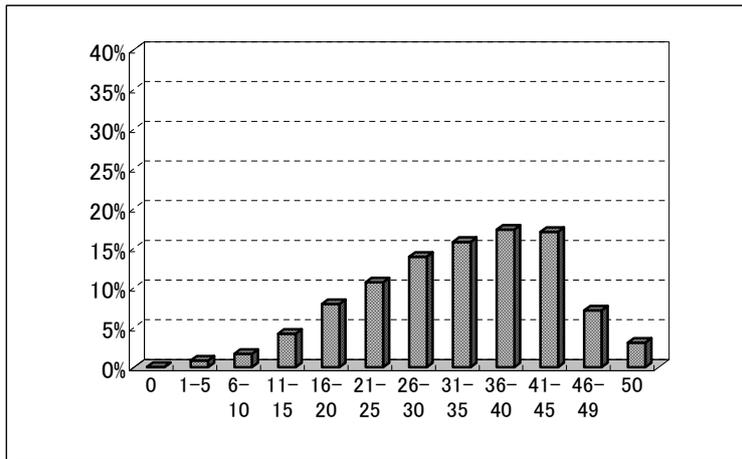
国語	
得点	割合
50	0.4%
46-49	6.0%
41-45	19.6%
36-40	23.5%
31-35	20.5%
26-30	14.9%
21-25	9.2%
16-20	4.3%
11-15	1.3%
6-10	0.3%
1-5	0.0%
0	0.0%



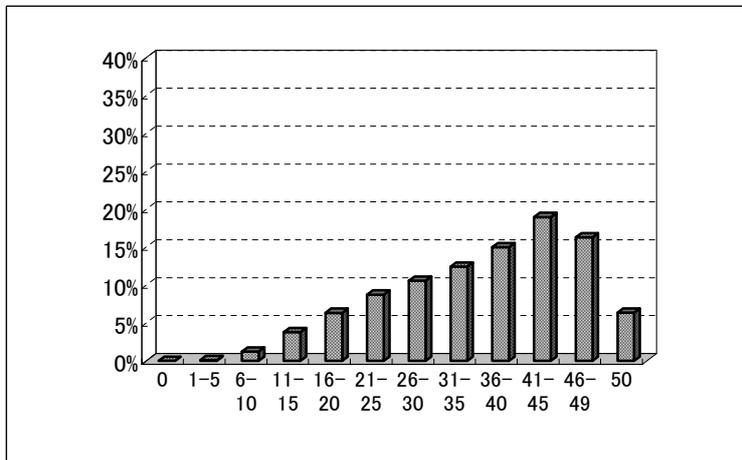
社会	
得点	割合
50	0.6%
46-49	9.5%
41-45	17.6%
36-40	15.8%
31-35	15.1%
26-30	13.9%
21-25	12.9%
16-20	9.5%
11-15	4.4%
6-10	0.6%
1-5	0.0%
0	0.0%



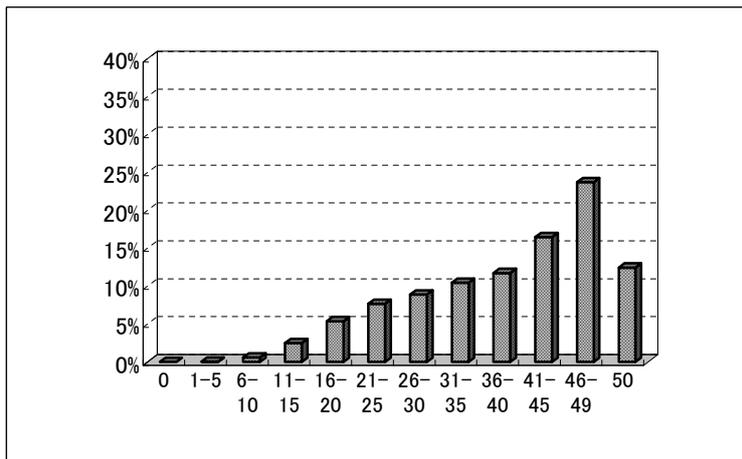
数 学	
得点	割合
50	3.1%
46-49	7.2%
41-45	17.0%
36-40	17.3%
31-35	15.8%
26-30	13.9%
21-25	10.7%
16-20	8.0%
11-15	4.3%
6-10	1.7%
1-5	0.9%
0	0.1%



理 科	
得点	割合
50	6.4%
46-49	16.3%
41-45	19.0%
36-40	15.0%
31-35	12.4%
26-30	10.6%
21-25	8.8%
16-20	6.3%
11-15	3.8%
6-10	1.2%
1-5	0.1%
0	0.0%



英 語	
得点	割合
50	12.5%
46-49	23.7%
41-45	16.5%
36-40	11.7%
31-35	10.5%
26-30	8.9%
21-25	7.7%
16-20	5.4%
11-15	2.5%
6-10	0.6%
1-5	0.1%
0	0.0%



5 全県共通問題の問題内容と正答率

国 語				
問	問題分野	問題内容	正答率	
一	ア	1 漢字の読み	波紋 (はもん)	93.9%
		2 漢字の読み	陶醉 (とうすい)	59.2%
		3 漢字の読み	顕著 (けんちょ)	64.7%
		4 漢字の読み	緩 (ゆる) やかな	73.4%
	イ	1 漢字の書き	サンサク (散策)	41.2%
		2 漢字の書き	スイサツ (推察)	59.8%
		3 漢字の書き	キョウメイ (共鳴)	34.1%
		4 漢字の書き	オ (帯) びた	55.8%
	ウ	i 敬語	発表原稿の中の敬語の使い方が適切でないものを選択する	34.0%
		ii 文の照応	同じ意味になるように書き直した文の空欄に入れる語の組み合わせを選択する	98.6%
		iii 内容合致	発表の内容やグラフから読み取れる内容として適切でないものを選択する	46.4%
	二	ア	文学的な文章	空欄に入れる語句を選択する
イ		文学的な文章	「私」が「来るんじゃないかった……」と思った理由を選択する	86.8%
ウ		文学的な文章	「先生」の気持ちを説明したものを選択する	89.7%
エ		文学的な文章	「私」の様子を説明したものを選択する	86.6%
オ		文学的な文章	「私」の様子をふまえた、朗読の仕方を選択する	67.8%
カ		文学的な文章	「先生」が「いつでもあなたが帰りたくなる場所になると思う」と思った理由を選択する	65.3%
キ		文学的な文章	この文章について述べたものとして最も適するものを選択する	25.3%
三	ア	論理的な文章	空欄に入れる語の組み合わせを選択する	76.7%
	イ	論理的な文章	「違和感」を説明したものを選択する	90.1%
	ウ	論理的な文章	「ただ、気になることもある」を説明したものを選択する	69.7%
	エ	論理的な文章/作文	「本当にいいことなのだろうか」と筆者が考えるのはなぜかを35字以上45字以内で書く	20.0%
	オ	論理的な文章	「美しさ」を求めるにはどのようなことが大切かを説明した文章の2つの空欄に入れる語句を本文中から抜き出す	34.7%
	カ	論理的な文章	筆者が「『老絵師の行方』という作品の一部」を引用した理由を選択する	81.8%
	キ	論理的な文章	「美しさを見出すのは、それを見るわれわれのほうである」を説明したものを選択する	80.2%
	ク	論理的な文章	筆者が本文中で述べている内容と合っていないものを選択する	53.2%
四	ア	古典 (古文)	他と主語が異なるものを選択する	69.5%
	イ	古典 (古文)	「ある商人」が「駿州」に「届け出でたり」の理由を選択する	63.2%
	ウ	古典 (古文)	「しかるに囚らざりき」の意味を選択する	50.3%
	エ	古典 (古文)	「駿州」が「命じけり」の内容を説明したものを選択する	50.1%
	オ	古典 (古文)	本文の内容と一致するものを選択する	60.9%

実施結果の概要

現代文や古文の文章を読み取る力をみる問題の正答率は高かった。一方、敬語の適切な使い方を問う問題、文章について述べたものを選ぶ問題の正答率は低かった。また、漢字を書く問題の一部や指定された語句を用いて制限字数内で文をまとめるといった記述式の問題の正答率が低かった。

## 社 会

問	問題分野	問題内容	正答率	
1	ア	i 地理	日本とオーストラリアの位置関係（経線と緯線の組み合わせから選択する）	28.7%
		ii 地理	日本の領域（領土の北端と南端となる島の名称の組み合わせを選択する）	78.0%
		iii 地理	時差の計算（2機の飛行機の到着した時刻の時間差を求める）	37.2%
		iv 地理	環太平洋造山帯に属する山脈や島々を選択する	62.8%
		v 地理	グラフの読み取り（月ごとの平均気温と降水量をあらわした2つのグラフから夏と冬の降水量の特色を記述する）	22.3%
	イ	地理	グラフの読み取り（世界の鉄鉱石の産出、輸出と日本の輸入量のグラフ）	70.4%
	ウ	地理	グラフの読み取り（1990年と2008年のオーストラリアの輸出総額のグラフ）	73.6%
2	ア	i 地理	火山のエネルギーの利用として地熱を記述する	57.5%
		ii 地理	九州の気候と漁業に関し、温暖な気候と養殖業を選択する	73.2%
		iii 地理	統計資料から宮崎県の畜産の生産額の割合の統計地図の作成	33.9%
	イ	i 歴史	安土山に城を築き、天下統一をめざした人物名を記述	73.9%
		ii 公民	地方公共団体における国に依存している財源を選択する	67.6%
		iii 地理	地形図の読み取り（写真が撮影された方向を選択する）	87.4%
		iv 地理	安曇川の河口に見られる形が特徴的な地形名を記述する	57.1%
		v 地理	地形図の読み取り（2万5千分の1の地形図における面積の計算）	52.7%
vi 地理	地形図の読み取り（滋賀県近江八幡市）	86.7%		
3	ア	歴史	奈良時代に行われていたことを選択する	73.1%
	イ	歴史	日本の奈良時代に該当する時代の中国について説明したものを選択する	64.8%
	ウ	歴史	カードに示されたような特色をもつ集落がつくられ始めた時代を、時代の流れを示す図から選択する	79.2%
	エ	歴史	現在の関東地方でおこった歴史のできごとを選択する	53.0%
	オ	歴史	日本橋があった都市について説明したものを選択する	59.1%
	カ	歴史	沖縄の歴史に関する3つの文を古い順に並べたものを選択する	64.4%
4	ア	歴史	新政府の諸改革にあてはまらないものを選択する	40.5%
	イ	歴史	4つのできごとを古い順に並べたとき3番目になるものを選択する	38.1%
	ウ	歴史	三・一独立運動がおこった地域を選択する	66.2%
	エ	歴史	ロシア革命から満州事変までの期間におこったできごとを選択する	60.5%
	オ	歴史	年表中の空欄にあてはまるできごとの組み合わせを選択する	41.9%
	カ	歴史	岩倉使節団に同行して米国に留学し、のち女子教育に力をつくした人物名を選択する	61.0%
	キ	歴史	三民主義をとらえ辛亥革命を指導した人物名を記述する	59.3%
	ク	歴史	朝鮮戦争がおこったときに最も近い時期におこったできごとを選択する	54.9%
	ケ	歴史	日中の国交回復に関するできごとを選択する	40.3%
5	ア	公民	三権分立の関係を示した図のうちに適切な説明を組み合わせたものを選択する	76.4%
	イ	公民	日本国憲法が国民に保障している社会権にあてはまらないものを選択する	41.8%
	ウ	公民	両議院の協議会を記述する	34.4%
	エ	公民	内閣の仕事にあてはまらないものを選択する	48.0%
	オ	公民	裁判官の発言中の空欄に適切なものを選択する	83.3%
	カ	公民	直接請求権に関して、首長に請求を求める内容を選択する	56.8%
	キ	公民	市町村合併に関する表の読み取り	55.8%
6	ア	公民	株式会社のような私企業の目的としてあてはまるものを選択する	90.3%
	イ	公民	需要曲線と供給曲線をそれぞれ示す2つのグラフから均衡価格を求める	87.2%
	ウ	公民	企業のホームページ上で、地域への貢献や環境保全への取り組みが見られる部分を選択する	81.4%
	エ	公民	5か国の常任理事国と10か国の非常任理事国から構成されるものを選択する	85.9%
	オ	公民	国家主権の主権の説明を選択する	68.9%
	カ	公民	先進国の政府が財政資金を使って発展途上国に対して行う資金・技術援助の略称を選択する	56.6%
	キ	公民	会話中の「考え」をあらわすものとして持続可能な開発（発展）を選択する	84.3%

### 実施結果の概要

地理、歴史、公民ともに、基本的な知識を直接問う問題の正答率は高かった。一方、位置や事象などを空間的な広がりでもとらえる問題、グラフを読み取り指定された語句を用いて制限字数内で特色を書く問題、統計地図を作成する問題、各時代の特色を理解した上で歴史のできごとを解答する問題では正答率が低かった。

数 学				
問	問題分野	問題内容	正答率	
1	ア	基本的な計算問題	正の数・負の数 整数の差	94.9%
	イ	基本的な計算問題	正の数・負の数 整数の積・和	94.6%
	ウ	基本的な計算問題	正の数・負の数 分数の和	92.8%
	エ	基本的な計算問題	式の計算 単項式の除法	98.1%
	オ	基本的な計算問題	式の計算 多項式の差	80.2%
	カ	基本的な計算問題	式の計算 平方根の計算	91.0%
	キ	基本的な計算問題	式の計算 式の展開	83.9%
2	ア	標準的な計算問題	式の計算 因数分解	90.6%
	イ	標準的な計算問題	2次方程式を解く	82.6%
	ウ	標準的な計算問題	変化の割合から2乗に比例する関数を決定する	65.1%
	エ	標準的な計算問題	根号がついた値の代入	51.3%
	オ	平面図形	円周角の定理の逆の性質を利用して、角度を求める	45.4%
3	ア	2乗に比例する関数	2乗に比例する関数を決定する	63.2%
	イ	2乗に比例する関数	2点を通る直線の式を求める	63.2%
	ウ	2乗に比例する関数	2つの直線の交点から線分の長さの比を求める	25.0%
4	ア	確率	2枚のカードを引き、割引券をもらうときの確率	53.2%
	イ	確率	2枚のカードを引き、割引券をもらうときの確率	30.8%
5	ア	2次方程式	2次方程式の応用 つくった立体に用いられている立方体の個数を求める	67.6%
	イ	2次方程式	2次方程式の応用 立方体の個数からつくる立体の縦の長さを求める	50.9%
6	ア	空間図形	三角すいの表面積を求める	37.2%
	イ	空間図形	三平方の定理や相似な図形の比を利用して空間の2点間の距離を求める	7.6%
7	ア	平面図形	三角形の相似の証明を完成させる	57.8%
	イ	平面図形	円周角の性質などを利用して、角度を求める	41.0%

#### 実施結果の概要

基本的な計算力を問う問題や因数分解、2次方程式の問題は正答率が高かった。一方、条件を正確に読み取ることが必要な確率や空間図形の問題の正答率は低かった。特に、展開図を組み立ててできる三角すいについて考察する問題の正答率は低かった。

理 科				
問	問題分野	問題内容	正答率	
1	ア	第1分野（物理） 光の屈折の実験結果を示す図を選択する	65.9%	
	イ	第1分野（物理） 物体の運動の平均の速さを計算する	59.0%	
	ウ	第1分野（物理） 仕事の大きさと仕事率についての実験結果の説明を選択する	52.8%	
2	ア	第1分野（化学） ろ過の仕方の図と説明を選択する	80.3%	
	イ	第1分野（化学） 化合物と分子にあてはまる物質の組み合わせを選択する	54.7%	
	ウ	第1分野（化学） 沸点の違いを利用した混合物の分離の実験結果と説明を選択する	67.8%	
3	ア	第2分野（生物） ヒトの反射における刺激の伝わり方を選択する	75.7%	
	イ	第2分野（生物） 顕微鏡の説明を選択する	66.7%	
	ウ	第2分野（生物） 染色体、遺伝子、DNAについての説明を選択する	61.8%	
4	ア	第2分野（地学） 日本海溝付近のプレートの説明を選択する	84.7%	
	イ	第2分野（地学） 地球、太陽、月の位置の関係について選択する	47.7%	
	ウ	i	第2分野（地学） 気象データから寒冷前線の位置を選択する	40.7%
		ii	第2分野（地学） 寒冷前線の説明を選択する	66.7%
5	ア	第1分野（物理） 抵抗の直列回路における電圧を計算する	74.8%	
	イ	第1分野（物理） オームの法則を用いて抵抗の値を計算する	55.0%	
	ウ	第1分野（物理） 電流の大きさと磁界から受ける力の大きさについて選択する	58.5%	
	エ	第1分野（物理） 電流が磁界から受ける力の向きについて選択する	73.1%	
6	ア	第1分野（化学） イオン式を記述する	40.6%	
	イ	第1分野（化学） 電気分解における電子の授受についての説明を選択する	61.0%	
	ウ	第1分野（化学） 非電解質を記述する	74.1%	
	エ	第1分野（化学） 原子の構造の説明を選択する	84.3%	
7	ア	第2分野（生物） 食物連鎖の生物の数量的な関係を選択する	75.3%	
	イ	第2分野（生物） 観察した生物を食物連鎖の観点から分類する	65.9%	
	ウ	第2分野（生物） 炭素の循環について二酸化炭素を化学式で記述する	78.1%	
	エ	第2分野（生物） 分解者の役割について選択する	76.3%	
8	ア	第2分野（地学） 堆積岩の名称の組み合わせを選択する	76.4%	
	イ	第2分野（地学） 実験結果から地層のつき方についての考察を選択する	59.5%	
	ウ	第2分野（地学） 火山灰の説明を選択する	77.1%	
	エ	第2分野（地学） 石灰岩の説明を選択する	63.3%	

#### 実施結果の概要

基本的な知識を問う問題の正答率は高かった。一方、基本的な知識を活用し、実験結果や観測データから読み取った内容と結び付けて考察する問題の正答率は低かった。また、基本的な用語や計算結果を記述させる問題の正答率は概ね高かったが、イオン式を記述する問題の正答率は低かった。

外国語（英語）				
問	問題分野	問題内容	正答率	
1	ア	1 聞くこと	英語を聞き、表から必要な情報を読み取る	93.4%
		2 聞くこと	英語を聞き、表から必要な情報を読み取る	95.0%
		3 聞くこと	英語を聞き、表から必要な情報を読み取る	79.1%
	イ	1 聞くこと	相手の発言に適切に応答する	91.8%
		2 聞くこと	相手の発言に適切に応答する	86.5%
		3 聞くこと	相手の発言に適切に応答する	81.1%
		4 聞くこと	相手の発言に適切に応答する	84.8%
	ウ	1 聞くこと	対話の内容を正しく理解する	73.9%
		2 聞くこと	対話の内容を正しく理解する	69.4%
3 聞くこと		対話の内容を正しく理解する	73.4%	
2	ア	書くこと	日本語を参考にして単語を正しく書く（highest）	62.1%
	イ	書くこと	日本語を参考にして単語を正しく書く（during）	54.0%
	ウ	書くこと	日本語を参考にして単語を正しく書く（yesterday）	78.1%
	エ	書くこと	日本語を参考にして単語を正しく書く（tired）	61.8%
3	ア	読むこと・書くこと	空所を補充して正しい英文を作る（受け身）	90.1%
	イ	読むこと・書くこと	空所を補充して正しい英文を作る（現在完了形）	87.1%
	ウ	読むこと・書くこと	空所を補充して正しい英文を作る（動詞の選択）	64.6%
	エ	読むこと・書くこと	空所を補充して正しい英文を作る（主語の選択）	58.5%
4	ア	読むこと・書くこと	対話の流れを理解して単語を正しく並べる	78.9%
	イ	読むこと・書くこと	対話の流れを理解して単語を正しく並べる	87.1%
	ウ	読むこと・書くこと	対話の流れを理解して単語を正しく並べる	76.2%
	エ	読むこと・書くこと	対話の流れを理解して単語を正しく並べる	59.1%
5	ア	読むこと	表を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う	35.4%
	イ	読むこと	表を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う	79.3%
	ウ	読むこと	表を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う	69.7%
	エ	読むこと	表を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う	82.0%
6	ア	読むこと	英文を理解しグラフを読み取る	79.0%
	イ	読むこと	英文を理解し状況を読み取る	78.8%
	ウ	読むこと	英文を理解し状況を読み取る	56.6%
	エ	読むこと	英文を理解し状況を読み取る	72.7%
	オ	読むこと	文脈を理解し三つの文を正しく並べる	70.2%
7	ア	読むこと	長文の内容を把握し、書き出しの英語に続けるものを選ぶ	65.7%
	イ	読むこと	長文の内容を把握し、英語による質問の答えを選ぶ	59.5%
	ウ	読むこと	長文の内容を把握し、英語による質問の答えを選ぶ	72.4%
	エ	読むこと	本文の内容と合うものを選ぶ	60.4%
	オ	読むこと・書くこと	長文の内容を把握し関連する英文の空所に適切な単語を補充する	49.7%

#### 実施結果の概要

「読むこと」「聞くこと」についての基本的な問題の正答率は高かった。日本語を参考にして単語を正しく書く問題、表を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う問題、長文の内容を把握する問題に正答率の低いものがあった。